

3月定例町議会

42年度の方針決まる

一般会計予算一億四千八百万円

昭和42年度の方針を定める阿仁町定例町議会が、三月十三日より会期八日間をもつて開催され、町長の施政方針のあと一般会計及特別会計予算をはじめとする三十二の議案が審議可決されました。

一般会計予算は昨年の当初予算より六千六百万増の二億四千八百万円となり、初の二億台突入となつております。本年度の施政方針として主なる施策を中心に以下その概要をご報告申し上げます。



施政方針
町長 佐藤時治

教育施設

昭和42年度の施政方針を定めるにあたり、まずもつ勢調査の結果当町の人口は一万台を割り九、八五九人と、前回の調査より一、四八〇人が減少しました。これは、地方町村にみられた全国的な傾向ですが、当町のようない山間地では、耕地は狭く傾斜地が大部分で山原野も急峻であるため人の不足を機械で補うことで、鉱山によつて興つた当町では鉱山の代替は町の盛衰に影響するもので極めて盛衰にかかるもので極めてあります。

ひらけ秋田、県南、盛岡に

学校に進学又は都合地に研

究めています。

人間形成の基礎をなすと

いわれる学校教育の重要性

はあらためて申すまでもあ

りませんが、近年中学校卒業者はその殆んどが、上級

生であります。

このように交通

の不便を覚えこれも一つの悩みとなつています。

このようない困難な町勢下

で反面、町の交通機関は一

歩進と上げようとしてい

ます。町内の幹線、国道一

〇五号線は昭和44年を目指

してみるとき。一年前の国

勢調査の結果当町の人口は

ひろく当町の実情を詳察

してみると、まずもつ

